

研究室報告

- ① 今年度は、坂井多穂子教授（国内特別研究）が研究に専念するために講義等を担当しなかった。
- ② 今年度は新入生歓迎行事として、四月ガイダンス時に学内にて交流会を行う予定であったが、新型コロナウィルスの流行のため、中止となった。
- ③ 今年度海外文化研修をインドにおいて実施する計画であったが、やはり新型コロナウィルスの流行のため、中止となった。
- ④ 本年度、大学院（インド哲学仏教学専攻）の公開研究発表会を春学期（六月二四日）と秋学期（十一月二七日）にオンライン形式で開催した。春学期、秋学期ともオンラインで開催した。春学期は以下の発表があった。新入生研究計画は柏本智史、中川照遵、前田恭介（以上M1）、楊鳳芹（以上特別学生）の四名、研究発表はシスコ（福島・マシユー（M2）「ガンターバ著のŚrīcakrasaṃvārasādhanaについて」、是松宏明（D2）「ジャイナ教における瞑想実践者の分類」、崎山忠道（D3）「『稲苧経』という経典の名称について」、谷釜智洋（D3）「大正期仏教教団の門徒教化への新たな取り組み——真宗大谷派「仏教学会」を中心として」の四発表であった。また秋学期は、崇昊（M2）「明太祖の佛教に対する考
- え方——『神異典』を中心として」、古川峻（M2）「滅罪法（ブラーヤシュチッタ）におけるチャンドラーヤナ減罪の在り方」、梅田愛子（D3）「梵文『維摩経』第一章の偈頌についての考察」の三発表であった。秋学期の発表会開始前には、学外講師をお招きし御講演戴いた。講師名、所属、講演テーマは以下の通りである。岡野潔先生（九州大学教授）「インド仏教の世界創世神話である「アツガンニヤ神話」はいかに形成されたか」。岡野先生に厚く御礼申し上げます。
- ⑤ 二〇二〇年八月一日にオンラインで開催された白山中国学会第十九回研究発表大会において、大学院生（中国哲学専攻）の研究報告・発表が行われた。博士前期課程の研究報告は、【M1】佐藤瑛「張飛像の変遷」、許瑋玲「程小青の文学活動」、【M2】鄭丹「謝靈運の山水詩を育んだ舞台—会稽の始寧をめぐる」、李華偉「四書改錯」と「駁四書改錯」との比較・分析による研究」の四発表、博士後期課程の研究報告は【D2】劉心奕「羅洪先思想における「万物一体論」、【D3】黒田祐介「陽明学における「赤子の心」について—王陽明の「赤子」観—」の二発表であった。
- ⑦ 本年度のティーチングアシスタントは、板敷真純、黒田祐介、志村敦弘、福島マシユー、星宮康子、劉心奕（五〇音順）の各氏が担当した。
- ⑧ 本年度の卒業論文の提出者は、第I部東洋思想文化学科では一〇八名、第II部東洋思想文化学科では三〇名であった。

大学院の修士論文提出者インド哲学仏教学専攻二名であった。本年度の優秀論文に対する褒賞は左記の通りである。

【校友会奨学基金】

学部 森原康暉（Ⅰ部）、奥西極（Ⅱ部）

大学院（インド哲学仏教学専攻） 福島マシユ

【勸学奨学基金】

学部 横山さやか（Ⅰ部）、該当なし（Ⅱ部）

・ 田村芳朗奨学基金

学部 該当なし（Ⅰ部）、該当なし（Ⅱ部）

大学院（インド哲学仏教学専攻） 古川峻

二〇二〇年度業績（二〇二〇年一月～十二月）

伊吹 敦

○研究活動

〈論文〉

「『師資血脈傳』の成立と變化、並びに他の神會の著作との關係について」（『東洋思想文化』七、二〇二〇年三月、一一六～一八八頁）

「佛教は哲學なりや宗教なりや（中國篇・上）——梁啓超・章炳麟の佛教理解と淨土教・禪宗の位置づけ」（『東洋学研究』五七、二〇二〇年三月、二三四～二〇九頁）

「七世紀後半における中國北地の思想動向——『金剛三昧經』に見る初期禪宗と三階教の接合とその意味」（『國際禪研究』五、二〇二〇年八月、三一～三六一頁）

「李華撰『故左溪大師碑』に見る知識人の佛教認識」（花野充道博士古稀記念論文集『仏教思想の展開』山喜房佛書林、二〇二〇年十月、四七九～五〇三頁）

「鈴木大拙はどうして初期禪宗史研究を始めたか」（『國際禪研究』六、二〇二〇年十一月、一三二～一九五頁）

「荷澤神會の著作『壇語』の成立時期について」（『印度学仏教学研究』六九、一、二〇二〇年十二月、三〇四～二九七頁）

〈翻訳〉

「『仏説呪魅經』について」（張雲江著、単訳、『東アジア仏教学術論集』八、二〇二〇年二月、九七～一一三頁）

「『歴代法宝記』に見るプラマーナや瑜伽行派の専門用語の修辭法的使用」（ウエンデイ・アダメック著、単訳、『國際禪研究』五、二〇二〇年八月、二七五～三〇九頁）

「初期禪宗の交雜——北宗禪と牛頭禪の交渉を中心に」（韓伝強著、単訳、『國際禪研究』六、二〇二〇年十一月、二二～三七頁）

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日・韓・中国際仏教学術大会（幹事・編集委員）／東アジア仏教研究会（役員）／日本印度学仏教学会（会員）／日本佛教学会（会員）／仏教史学会（会員）／早稲田大学東洋哲学会（会員）

学会発表等

「鈴木大拙はどうして初期禪宗史研究を始めたか」（二〇二〇年二月十六日、國際禪研究プロジェクト・東洋大学東洋学研究所共催シンポジウム「鈴木大拙の思想とその史的意義」、東洋大学、白山キャンパス、八号館七階、一二五記念ホール）

「荷澤神會の著作『壇語』の成立時期について」（二〇二〇年七月四日、日本印度学仏教学会第七一回学術大会、創価大学、オンライン開催）

「師資血脈傳」に見る『傳法寶紀』の影響と神會の獨自性

(二〇二〇年十一月七日、国際禅研究プロジェクト主催
二〇二〇年度第一回研究会「初期禅宗史研討会Ⅱ」、東洋
大学、オンライン開催)

「六祖壇經」の成立に関する新見解―敦煌本『壇經』に見る
三階教の影響とその意味」(二〇二〇年十二月十二日、国
際禅研究プロジェクト主催二〇二〇年度第二回研究会(陳
金華先生講演会併催)、東洋大学、オンライン開催)

〈研究プロジェクトへの参加〉

科学研究費助成金「海外の研究者との連携による中国・日本に
おける禅思想の形成と受容に関する研究」(基盤研究(A)
17H00904) 研究代表者)

井上円了記念研究助成「中国人民大学(中国)・金剛大学校(韓
国)と結んだ交流協定に基づく国際シンポジウム「東アジア
仏教における生活規範―戒律・大乘戒・清規・非僧非俗」の
共同開催」(海外の協定校との共同研究、研究代表者)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・東洋思想文化演習・卒論指導⑥(Ⅰ部、通年)

中国仏教史A(Ⅰ・Ⅱ部、春学期)

中国仏教史B(Ⅰ・Ⅱ部、秋学期)

仏教漢文A(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、春学期)

仏教漢文B(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋学期)

レポート・論文制作の技法(Ⅰ部、春学期)

東洋思想特講ⅡA(Ⅰ部、春学期)

東洋の身体論(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋学期) 授業総括

近代化と東洋(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋学期) 授業総括・

四回担当

「はじめに」(九月二三日)

「近代における禅の再発見―胡適・鈴木大拙・和辻

哲郎」(九月三十日)

「近代化と中国仏教」(十月二八日)

「まとめ」(二月十三日)

総合ⅧB1(校友会寄附講座、Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋
学期) 一回担当

「哲学館の後継者たちの活躍 境野黄洋、高嶋米峰
など」(十月二四日)

大学院・中国仏教研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅳ(前期課程)

仏教学特殊研究Ⅲ・仏教学研究指導Ⅳ(後期課程)

○大学管理運営活動

文学研究科インテグレーション哲学仏教学専攻長、文学部内自己点検・評価
委員会委員・文学部内外国語委員会委員・東洋大学東洋学研究
所研究員

○社会的活動

(公益財団法人) 中村元東方研究所兼任研究員

岩井 昌悟

○研究活動

〈その他〉

「三因縁釈迦一代伝記につらつ」(前編)「[CANDANA]」第
二八二号、中央学術研究所二〇二〇年七月、二～五頁
学会参加

国際井上円了学会第九回学術大会(東洋大学・オンライン)、
二〇二〇年九月五日

日本仏教心理学会第一二回学術大会(東洋大学・オンライン)
二〇二〇年九月二十六日

所属学会ならびに役職

日本印度学仏教学会(会員)／日本宗教学会(会員)／日本佛
教学会(理事)／仏教思想学会(会員)／パリリ学仏教文化
学会(理事)、日本チベット学会(会員)／国際井上円了学
会(理事)

〈研究プロジェクトへの参加〉

東洋大学国際哲学研究センター(センター長・河本英夫「東洋
大学」) 研究員

○教育活動

〈学内担当科目〉

学 部：東洋思想文化演習⑤(Ⅰ部)

東洋思想文化演習②(Ⅱ部)

インド仏教史A・B(Ⅰ・Ⅱ部)

パリリ語A・B(Ⅰ部)

東洋芸術文化特講ⅡA(春学期・Ⅱ部)

仏教思想特講ⅢA(秋学期・Ⅰ部)

レポート・論文制作の技法(Ⅱ部)

総合ⅧAⅠ(校友会寄附講座、Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、春
学期) 二回担当

「日本をどう考えるのか―井上円了の忠と孝」(五月
十六日、五時限)

東洋の身体論(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ) 一回担当

「仏教の身体論」(五月二十日、七時限)

東洋大学・井上円了研究一回担当

「井上円了の釈迦」(五月九日、四時限)

大学院：初期仏教研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅲ(前期課程)

仏教学特殊研究Ⅳ・仏教学研究指導Ⅲ(後期課程)

○大学管理運営活動

井上円了研究センター運営委員会委員／東洋大学東洋学研究所
研究員・運営委員

川田 健

○研究活動

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本中国学会(会員)・日本マンガ学会(会員)・中国古典学会

〔幹事〕・日本詩経学会（会員）・日本漢詩文学会（会員）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・レポート・論文制作の技法（Ⅰ部）

中国文学講読A・B（Ⅱ部）

東洋思想文化演習A・B（Ⅰ部）

漢文訓読法（Ⅰ部）

中国語学演習A・B

坂井 多穂子（国内特別研究中）

○研究活動

〈論文〉

・『乾淳^ノ与^レ元佑^ノ——南宋詩人如何看待蘇軾？』、黄偉豪訳、

『華南師範大学学报（社会科学版）』、二〇二〇年一月、六一

～七三頁

・『楊万里对蘇軾の学習——以次韻和擬括為中心——』、孫文秀

訳、『新宋学』第九輯、復旦大学中文系、二〇二〇年一〇月、

一一三～一三四頁

・『林逋と鶴——『梅妻鶴子』弁』、『颯風』第五九・六〇合併号、

颯風の会、二〇二〇年十一月、一～二三頁

〈その他〉

・『中国の治水——神話の時代から——』、『エコ・フィロソフィ

研究』、第一四号、二〇二〇年三月、八一～九二頁

・『コロナ以前の『戴復古五律読書会』』、『日本中国学会便り』、
二〇二〇年第二号、二〇二〇年二月、四～五頁

〈研究発表〉

・『林逋と鶴——『梅妻鶴子』弁』、江湖派研究会（オンライン

開催）、二〇二〇年十一月二十八日

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本中国学会（大会委員会委員）／日本宋代文学学会（理事・

編集委員会委員）／白山中国学会（理事・会計委員）／中唐

文学会（会員）／中国文史研究会（会員）／日本杜甫学会（会員）

学会参加等

日本中国学会第七十二回大会、慶應義塾大学（オンライン開

催）、二〇二〇年一〇月一〇～一二日（大会委員会／大井さ

き氏研究発表の司会）

○教育活動

〈学内担当科目〉国内特別研究につき免除。

○大学管理運営活動

国内特別研究につき免除。

小路口 聡

○研究活動

〈論文〉

・『過ちに気づくということ——王畿の改過論』、『陽明学』第

三十号、二〇二〇年三月、二九〜七七頁

〈訳注〉

・「鄒守益「会語」資料（惜陰・青原・龍華の会関連）訳注―

―陽明門下の会語記録を読む 其の四―」、『白山中国学』

通巻二六号、二〇二〇年三月、一〜二二頁、*吉田公平・早

坂俊廣・鶴成久章・伊香賀隆・播本崇史と共著

・「鄒守益「会語」資料（復古書院関連）訳注―陽明門下の

会語記録を読む 其の五―」、『白山中国学』通巻二六号、

二〇二〇年三月、二三〜七二頁、*吉田公平・早坂俊廣・鶴

成久章・伊香賀隆・播本崇史と共著

〈翻訳〉

・呉震「良知倫理学としての知行合一論―「一念動処便是

知亦便是行」を中心に―」、『白山中国学』通巻二六号、

二〇二〇年三月、二一〜四七頁、*劉心奕と共訳

〈研究プロジェクト〉

・科学研究費助成金「陽明門下の講学活動と「会語」資料に関

する総合的研究」（研究種目：基盤研究（B）、課題番号：・

17102271）、*研究代表者

・科学研究費助成金「哲学資源としての漢文教材および学び方

の開発に関する基礎的研究」（研究種目：基盤研究（C）、課

題番号：20K02730）、*分担研究者

〈学会活動〉

日本中国學會（会員・評議員）、白山中国学会（理事・『白山中

国学』編集委員）、中国文史哲研究会（会員）、東洋古典學研
究会（会員）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部：レポート・論文制作の技法（春学期）

東洋思想文化演習Ⅰ⑩A B / 中国哲学演習Ⅰ①（Ⅰ部）

東洋思想文化演習Ⅱ④A B（Ⅱ部）

中国哲学史A B（Ⅰ部）

中国哲学特講A B / 中国哲学特講ⅠA B（Ⅰ部・Ⅱ部）

卒業論文（Ⅱ部・秋学期）

卒論指導A B（中国語・中国哲学文学コース代表、Ⅰ

部・Ⅱ部）

大学院：中国哲学特論Ⅲ（博士前期課程）

中国哲学演習Ⅱ（博士前期課程）

国哲学研究指導Ⅲ（博士前期課程）

中国哲学特殊研究Ⅲ（博士後期課程）

中国哲学研究指導Ⅲ（博士後期課程）

○大学管理運営活動

二部東洋思想文化科学科長、文学部グローバル化推進委員、

東洋大学東洋学研究所運営委員・同編集委員、東洋大学国際

哲学研究センター研究員

白井 順

○研究活動

〈論文〉

「門人と交友関係から見た蟹養齋」、「東洋思想文化」第七号、

一―二三頁、二〇二〇年三月

〈翻訳〉

尹波・郭齐 著／白井順 訳「真の朱熹を理解するための窓―

―新発見書簡四通の考察―」、「日本儒教学会報」第四号、

二〇二〇年一月

〈講演〉

「明治期桑名の關齋学派―秋山罷齋とその周辺―」、白山中国学

会、二〇二〇年三月二二日、東洋大学白山校舎六四〇九教室

（新型コロナウイルスのため中止）

〈学会活動〉所属学会

日本中国学会（会員）／日本道教学会（会員）／東方学会（会員）

／朝鮮学会（会員）／韓国思想史学会（委員）／白山中国学会

（理事）／日本儒教学会（会員）／日本思想史学会（会員）／大

阪市立大学中国学会（会員）／九州大学中国哲学研究会（会

員）／九州中国学会（会員）／阪神中哲談話会（会員）／近現代

東北アジア地域史研究会（会員）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・中国文献学A B（I部・II部）

中国語I B A B（II部）

中国学概論（I部・II部、春学期）

東洋思想（I部・II部、秋学期）

近代化と東洋（I・II部乗り入れ、秋学期）一回担当

「東洋学と近代」（十月九日、七時限）

大学院・中国哲学演習I A B（博士前期課程）

中国哲学研究指導I V A B（博士前期課程）

中国哲学特殊研究V A B（博士後期課程）

中国哲学研究指導V A B（博士後期課程）

○大学管理運営活動

学生スポーツ協議委員／文学部カリキュラム検討委員会委員／

大学院図書館運営委員会委員／大学院文学研究科内F D委員

沼田 一郎

○研究活動

〈論文〉

・『東洋思想文化』『東洋思想文化』東洋大学文学部紀要第七三

集（東洋思想文化学科篇Ⅶ）、二〇二〇年二月、八三―九六頁。

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本南アジア学会（会員）／日本印度学仏教学会（評議員・会員）

／日本佛教学会（会員）／アジア法学会（会員）／国際井上

円了学会（会員）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・東洋思想文化演習（Ⅰ部）

サンスクリット語ⅠA・B

インド思想特講ⅠA（Ⅰ部・Ⅱ部）

インド思想史A・B（Ⅰ部）

東洋思想文化演習（Ⅱ部）

レポート論文制作の技法（Ⅱ部）

大学院・インド哲学概論特殊研究ⅢA・B

インド哲学研究ⅠA・B

○大学管理運営活動

文学部東洋思想文化学科第一部学科長

野間 信幸

○研究活動

〈論文〉

『福爾摩沙』創刊前的張文環（原載『台湾現当代作家研究資料彙編6・張文環』一三九〜一五一頁）国立台湾文学館

「二〇二〇台湾現当代作家研究資料数位」転載

「張文環與兩座太平山」（原載『台湾現当代作家研究資料彙編6・張文環』三〇一〜三二〇頁）国立台湾文学館

「張文環與兩座太平山」（原載『台湾現当代作家研究資料彙編6・張文環』三〇一〜三二〇頁）国立台湾文学館

「張文環與兩座太平山」（原載『台湾現当代作家研究資料彙編6・張文環』三〇一〜三二〇頁）国立台湾文学館

「張文環與兩座太平山」（原載『台湾現当代作家研究資料彙編6・張文環』三〇一〜三二〇頁）国立台湾文学館

〈その他〉

「阿部兼也先生を悼む」『白山中国学』第二十六号、二〇二〇年三月二〇日、八七〜八九頁

月二〇日、八七〜八九頁

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本中国学会（会員）／日本台湾学会（学会賞選考委員）／天理

台湾学会（理事）／日本現代中国学会（会員）／白山中国学会

（会長）／中国文芸研究会（会員）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・レポート・論文制作の技法③《春》（Ⅰ部）

中国文学史A・B（Ⅰ部）

東洋思想文化演習ⅠA・B（Ⅰ部）

東洋思想文化演習ⅡA・B（Ⅰ部）

中国文学特講ⅠA・B（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）

中国文学特講ⅡA・B（Ⅰ部）

中国文学史A・B（Ⅱ部）

総合ⅧB（校友会寄附講座、オムニバス授業、秋学期

の一回担当）

「巴了の台湾巡講―南船北馬2（台湾巡講）」十月十五

日

大学院・中国文学特論ⅠA・B・中国哲学研究指導ⅡA・B・

中国語学研究ⅠA・B（前期課程）

中国哲学特殊研究ⅠA・B・中国哲学研究指導ⅠA・
B（後期課程）

○大学管理運営活動

大学院文学研究科中国哲学専攻長／東洋大学アジア文化研究所
所長

○社会的活動

アジアセンター21（維持会員）

橋本 泰元

○研究活動

〈論文〉

「グルーリーナーナクの実践論―修行階梯説について―」（単著、
『東洋学研究』第五七号、七五～八一頁、二〇二〇年三月
三一日）

〈学会活動〉

〈所属学会ならびに役職〉

日本印度学佛教学会（理事）／日本宗教学会（会員）／日本南
アジア学会（会員）／日本佛教学会（会員）

〈研究プロジェクトへの参加〉

科学研究費助成金「インド・ヴェリンドーヴァンのチャイタニ
ヤ派における理論と実践の相互補完的研究」（二〇二〇年度
基盤研究（C） 課題番号20K00061 研究代表者）

「多言語重層構造をなすインド文学史の先端的分析法と新記述」

（二〇二二年度科学研究費補助金 基盤研究（A）研究代表者）
水野善文「東京外国語大学」連携研究者）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・レポート・論文制作の技法②（Ⅰ部）

インド思想史A・B（Ⅱ部）

ヒンドゥー教概論A・B（Ⅰ・Ⅱ部）

ヒンディー語A・B（Ⅰ・Ⅱ部）

東洋思想文化演習ⅠA・B（Ⅰ部）

東洋思想文化演習ⅡA・B（Ⅰ部）

卒論指導A・B（Ⅰ部）

仏教の芸能（秋学期、コデイネーター）（Ⅱ部）

文学部伝統文化講座（TDB）「聲明公演」（コロナ禍
のため不開催）

大学院・インド哲学研究Ⅱ・インド哲学研究指導Ⅲ（前期課程）

インド哲学特殊研究Ⅱ・インド哲学研究指導Ⅱ（後
期課程）

〈学外担当科目〉

大正大学学部・ヒンディー語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ（総合）

東京大学文学部・大学院人文社会系研究科・外国語（ヒンデー
語）

〈海外文化研修予備調査〉

二月二一日～二五日まで、沼田一郎教授とともに研修予定先の

バナークラス・ヒンドゥー大学アーユルヴェーダ学部学部長および同学部健康・ヨーガ学科学科長以下教員および文学部宗教学・哲学科全教員ならびに同学部外国語学科日本語専攻長らと学生交流のための企画を協議した。

○大学管理運営活動

東洋大学東洋学研究所研究員・運営委員／井上円了記念研究助成審査専門委員／文学部内入試委員会委員／文学部内キャリア・就職推進委員会委員

○社会的活動

団体役員等
(特財) 大法輪石原育英会評議員

山口 しのぶ

○研究活動

〈論文〉

「バリ・ヒンドゥー教のパユ・オトン儀礼について」『東洋思想文化』第七号、六一〜八六頁、二〇二〇年三月

〈所属学会ならびに役職〉

日本印度学仏教学会(会員)／日本宗教学会(会員)／日本南アジア学会(和文雑誌編集委員(二〇二〇年九月まで)・会員)／日本佛教学会(会員)／日本西蔵学会(会員)／密教圖像学会(会員)／東海印度学仏教学会(会員)／東南アジア学会(会員)

〈研究プロジェクトへの参加〉

科学研究費補助金(基盤研究C)「インドネシア、バリ・ヒンドゥー儀礼におけるインド宗教の受容と変容に関する研究」(課題番号19K00064, 研究代表者)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学 部・東洋思想文化演習Ⅰ⑦A・B (Ⅰ部)
東洋思想文化演習Ⅰ③A・B (Ⅱ部)
東洋思想文化演習Ⅱ⑦A・B (Ⅰ部)
東洋思想文化演習Ⅱ③A・B (Ⅱ部)
卒論指導A・B⑦ (Ⅰ部)
卒論指導A・B③ (Ⅱ部)
インド・仏教の美術A・B (Ⅰ部)
インド・仏教の美術A・B (Ⅱ部)
チベット仏教のあゆみ (Ⅰ部) 春学期
チベット仏教のあゆみ (Ⅱ部) 春学期
東洋芸術文化特講ⅣB (Ⅰ部) 秋学期
近代化と東洋 (Ⅰ・Ⅱ部) 入り入れ、秋学期) 一回担当
近代化とチベット (十月十四日、七時限)
総合ⅢBⅠ(校友会寄附講座) 一回担当
「日本の近代化と東洋大学―井上円了の哲学と実践―」
(Ⅰ・Ⅱ部) 入り入れ「哲学館からチベットへ―明治の取経僧・河口慧海と能海寛」十一月二二日、五時

限)一回担当

大学院・インド仏教研究Ⅳ A・B、仏教学研究指導Ⅱ A・B (前期課程)

仏教学特殊研究Ⅱ A・B、仏教学研究指導Ⅱ A・B (後期課程)

○大学管理運営活動

東洋大学文学部予算委員会委員／井上円了研究センター運営委員
員会委員／東洋大学東洋学研究所研究員・運営委員／東洋大学アジア文化研究所研究員

渡辺 章悟

○研究活動

〈論文〉

* A Question Concerning the Title of the Prañāparanīḥīrdayal-sūtra: Is the Prañāparanīḥīrdayal-sūtra] a Sūtra that Advocates Emptiness or a Dhāraṇī (Mantra)? *Investigating Principles: International Aspects of Buddhist Culture*. Prof. Charles Willemen Felicitation Volume, the Buddha-Dharma Centre of Hong Kong, 2019, pp.383-396.

「般若経の縁起説とその展開―龍樹『中論偈』の八不偈をめぐって」『東洋思想文化』第七号、東洋大学文学部、二〇二〇年三月、一―三〇頁(左)

「千手経とは 曹洞宗で唱えられるタラ二経典 第二回」『仏教企画通信』五八号、二〇二〇年一月一日、三―四頁。

「大悲心陀羅尼が説かれる背景から 曹洞宗で唱えられるタラ二経典 第三回」『仏教企画通信』六〇号、二〇二〇年六月一日、三―四頁。

「大悲心陀羅尼の真言 曹洞宗で唱えられるタラ二経典 第四回」『仏教企画通信』六一号、二〇二〇年九月一日、三―四頁。

「第二の転法輪」『駒沢大学仏教学部論集』五一号、駒沢大学仏教学会、二〇二〇年一月、一―十三頁。

〈その他〉

第三〇回中村元東洋学術賞受賞、中村元東洋研究所・インド大使館共催、二〇二〇年九月一日

〈学会活動〉

・所属学会ならびに役職

日本印度学仏教学会(理事・評議員・企画編集委員)／仏教思想学会(理事・評議員)／日本西蔵学会(委員)／(般財)東方学会(地区委員・会員)／日本宗教学会(評議員)／日本佛教学会(会員)／(公財)東方研究会(兼任研究員)／日本仏教心理学会(会員)／国際仏教学会ABS(会員)
・学会参加等

「ポストコロナのグローバル倫理」(仏教心理学会 第十二回学術大会)「コロナウィルス蔓延の中で仏教心理学が担うべき役割」をテーマとするシンポジウム。東洋大学オンライン

開催) 二〇二〇年九月二六日(パネル司会、実行委員長)

仏教思想学会第三四回学術大会、立正大学オンライン開催、

二〇二〇年七月十一日(理事会・研究発表会の司会)

〈研究プロジェクトの主宰及び参加〉

井上円了記念研究助成・東洋学研究所プロジェクト「初期大乗

仏教の成立と展開——テキスト・ことば・思想——」研究代

表者

井上円了記念研究助成・東洋学研究所プロジェクト「東アジア

における仏教思想の成立と展開、並びにその意義の解明」(研

究代表者 伊吹敦) 研究分担者

「パウダコーシヤ・仏教用語の『日英基準訳語集』構築に向

けるの総合的研究」文科省科学研究費「基盤研究(A)」(研

究代表者・斎藤明「国際仏教学大学院大学」研究分担者)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・ブツダの思想とその展開 A・B (I・II部)

サンスクリット語 II A・B (I部)

東洋思想文化演習 I・II ③ (I部)

大乗仏教の思想 I (I部、春学期)

レポート・論文制作の技法 I (I部、春学期)

総合 VIII A・B (校友会寄附講座、I・II部乗り入れ)

運営責任者ならびに六回の授業担当

大学院・大乗仏教研究 I・仏教学研究指導 I (博士前期課程)

仏教学特殊研究 I・仏教学研究指導 I (博士後期課程)

〈学外担当科目〉

大正大学大学院「MD 仏教学特論 A・B」春学期・秋学期

○大学管理運営活動

東洋大学東洋学研究所(研究所長・運営委員・研究所員)

○その他の社会活動

(公財) 仏教伝道協会・英訳大藏経編集委員会(委員)・仏教聖

典編集委員会(委員)・助成金審査委員会(委員)／(特財)

大法輪石原育英会奨学生選考委員会(委員)／(公財) 中村元東

洋思想文化賞審査委員会(審査員)／東洋大学仏教会(会長)

二〇二〇年度開講科目

・授業名、サブタイトル、担当者の順に記す。

・通年科目はA（春学期）・B（秋学期）に分かれるが、担当者が同一であり、かつ、サブタイトルが春秋通じて同一の場合、その区分は省略して記した。

・ただし、半期のみ授業については《春》《秋》と表記した。

・担当者および《春》《秋》の授業区分に付したカッコ内の数字は、それぞれI部・II部の区別を示す。カッコ内の数字が付されていないものは、I部II部隔年開講の科目か、I部・II部の担当者が同一であることを示す。

〈学部〉（五十音順）

東洋思想文化学科

アジアの古典（インドの古典に触れる）

宮本 城

アジアの文学（女性が描く、女性を描く台湾文学）

橋本恭子

イスラーム概論《秋》（イスラーム的なものの捉え方・考え方を知る）

柴山 滋

インド現代思想《春》（ガンデーとアーンベードカル）その思想と対立）

石川 寛（I）

インド古典思想概論A（ヴィシュヌ派の思想と展開）

三澤祐嗣

インド古典思想概論B（シヴァ派の思想と展開）

三澤祐嗣

インド思想史A B（インド思想と宗教の潮流を概観する）

橋本泰元（II）

インド思想史A（インド思想と宗教の潮流を概観する）

沼田一郎（I）

インド思想史B（インドの叡智を探る）

沼田一郎（I）

インド思想特講I A（道徳・財・愛欲のインド文化史）

沼田一郎

インド思想特講I B・II A（インドの歴史と文化）

石川 寛（II）

インド思想特講II B《秋》（サーンキヤ思想とその展開）

三澤祐嗣（II）

インド思想特講IV B《秋》（ベンガル文化の多様性を学ぶとともに、東西に共通するベンガル人意識を探索する）

丹羽京子（I）

インド仏教史A（釈尊の覚りとその展開）

岩井昌悟

インド仏教史B（大乘仏教とは何か）

岩井昌悟

インド・仏教の美術A（仏教の仏と神々の図像学的考察）

山口しのぶ

インド・仏教の美術B（南アジアのヒンドゥー美術）

山口しのぶ

インド舞踊《春》（インド舞踊・バラタナターヤムの実技と理論）

久保田幸代

インド文化概論A《春》(パンジャブ地方く北インド世界の
悲恋民話の世界を読み語る) 村山和之

インド文化概論B《春》(文学を通して見るインド文化)

韓国語A B 宮本 城
韓国語A B 佐藤 厚

韓国仏教史《秋》 佐藤厚(Ⅱ)

漢文訓読法①《秋》(漢文読解の手ほどき) 播本崇史

漢文訓読法②《春》(漢文法の基礎知識) 川田 健(Ⅰ)

基礎中国語A①《春》(異なる体系との出会い) 多田 恵(Ⅰ)

基礎中国語A②《春》(HSK2級の合格) 橋本恭子(Ⅰ)

基礎中国語A③《春》(中国語初心者のための授業) 権 慧(Ⅰ)

基礎中国語B①《秋》(異なる体系への取り組みを進める) 多田 恵(Ⅰ)

基礎中国語B②《秋》(HSK2級の合格) 橋本恭子(Ⅰ)

基礎中国語B③《秋》(中国語初心者のための授業) 権 慧(Ⅰ)

基礎中国語A B (初級中国語) 大江千晶(Ⅱ)

キリスト教概論《春》(キリスト教誕生に至る歴史とキリスト
教思想の基礎) 山中利美(Ⅰ)

近代化と東洋《秋》(東洋は近代化をどのように受け止めたか
〈オムニバス形式〉) 伊吹 敦

現代に生きる仏教《秋》(人権の歴史をめぐる仏教者のかかわ
りに学び、現代社会の排除と包摂を考える) 高瀬顕功

現代のインド《秋》(インド近・現代の政治と社会)

石川 寛(Ⅰ)

坐禅《春》(「いま」を見つめる) 眞如晃人

サンスクリット語ⅠA B (古典サンスクリット入門) 沼田一郎

サンスクリット語ⅡA B (実践サンスクリット中級) 渡辺章悟

写経《春》 張堂興昭

宗教学ⅠA (南アジアにおける宗教思想と神観念)

三澤祐嗣(Ⅱ)

宗教学ⅠB (南アジアの宗教思想と死生観)

三澤祐嗣(Ⅱ)

宗教学ⅡA (アジアの諸宗教における死生観の比較)

水谷香奈(Ⅰ)

宗教学ⅡB (死生観を中心とした仏教の歴史と思想の変遷)

水谷香奈(Ⅰ)

宗教学ⅡA B (宗教文化の理解に宗教と言語、道徳)

吉村 均(Ⅱ)

宗教学概論A (多様な教理と実践の世界)

島田茂樹

宗教学概論B (華麗なる文化と芸術の世界)

島田茂樹

宗教学社会学A

松野智章

宗教学社会学B

松野智章

上級中国語A B (中国語の作文)

阿部順子

神道史A (日本中世の仏教と神祇(Ⅰ))

伊藤 聡

神道史B (日本中世の仏教と神祇(Ⅱ))

伊藤 聡

総合ⅧA B ① (日本の近代化と東洋大学―井上円了の哲学と実践―(オムニバス形式))

チベット語A (古典チベット語文法)

チベット語B (法華経 普門品(観音経)を読む)

チベット仏教史《春》

中級中国語A B (中国語のヒアリング能力を高める)

中国学概論A (現代社会と中国優秀伝統文化)

中国学概論B (中国文学を鑑賞する)

中国学研究法A (中国哲学研究の基礎知識)

中国学研究法B (中国学の基礎知識を学ぶ)

中国現代文学史A B (中国二〇世紀文学の歩み)

中国語ⅣA B (中国語のヒアリング能力を高める) 権 慧 (I)

中国語ⅤA B (中国語の作文) 阿部順子 (I)

中国語ⅥA B (中国語の作文) 多田 恵 (II)

中国語ⅦA (聴解の基礎) 多田 恵 (II)

中国語ⅧB (スピーキングの基礎を培う聴解) 多田 恵 (II)

中国語学演習A B (日本語文法書を中国語で読む)

川田 健 (II)

中国史概説A (中華世界の拡大と再生)

中国史概説B (華夷一家)への道

中国哲学講読A B ② (『天道溯源』講読)

中国哲学講読A B ① (朱熹『論語集注』学而・為政篇)

中村 聡 (I)

竹内洋介

播本崇史 (II)

中国哲学史A B (中国に哲学はあるのか?) 小路口聡 (I)

中国哲学史A B (中国における「哲学」の姿) 坂本頼之 (II)

中国哲学特講I A B (原典資料で読む陽明学概論) 小路口聡

中国哲学特講II A B (『小学』読解) 白井 順 (I)

中国の美術A (先史〜南北朝時代の中国美術) 萩原 哉 (I)

中国の美術B (隋唐〜明清時代の中国美術) 萩原 哉 (I)

中国の美術A B (中国の仏教・道教を中心とした宗教美術史) 田中知佐子 (II)

中国仏教史A (初伝期から南北朝まで) 伊吹 敦

中国仏教史B (隋代から現代まで) 伊吹 敦

中国文学史A B (宋代以降の文学の諸相) 野間信幸

中国文学講読A (唐詩を読む) 川田 健 (II)

中国文学講読B (『史伝文学』を読む) 川田 健 (II)

中国文学講読A B ② (現代文学作品を読む) 田中路子

中国文学特講I A B (台湾の文学を読む) 野間信幸 (I)

中国文学特講II A B (中国近現代文学を読む) 近藤光雄 (II)

中国文学特講III A B ② (張文環作品の講読) 野間信幸 (I)

中国文献学A B 白井 順

哲学概説A (自分の頭で考えて、自分の言葉で伝えるということ)

哲学概説B (自分の頭で考えて、主体的に行動するということ)

東西交渉文化史A (内陸アジア関係史(前編…古代〜前近代))

渡邊郁子 (II)

渡邊郁子 (II)

渡邊郁子 (II)

- 東西交渉文化史B (内陸アジア関係史(後編・近現代)) 登利谷正人
語文獻講読)
- 東南アジア仏教史《春》(スリランカ及び東南アジアに普及した仏教の歴史を学ぶ) 藪内聡子
た仏教の歴史を学ぶ)
- 東洋思想《秋》(中国の思想家たち) 白井 順
- 東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ①A B (哲学の原典を読む) 沼田一郎
- 東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ②A B (ヒンドゥー教の思想・文化研究Ⅰ) 橋本泰元 (Ⅰ)
- 東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ③A B (インド大乘仏教の研究) 渡辺章悟 (Ⅰ)
- 東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ④A B (初期仏教研究) 岩井昌悟
- 東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ⑥A B (A文獻の読解/B自由研究) 沼田一郎
- 東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ⑦A B (アジアの芸術文化に関する英語文獻講読) 伊吹 敦 (Ⅰ)
山口しのぶ (Ⅰ)
- 東洋思想文化演習Ⅰ①A B (中国の詩を中国語で読む) 野間信幸 (Ⅰ)
- 東洋思想文化演習Ⅱ①A (中国の詩を中国語で読み、分析する) 野間信幸 (Ⅰ)
- 東洋思想文化演習Ⅱ①B (中国の詩を中国語で読み、分析する) 野間信幸 (Ⅰ)
- 東洋思想文化演習Ⅱ②A B (『国語』を読む) 川田 建 (Ⅰ)
- 東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ③A B (アジアの芸術文化に関する英語文獻講読) 山口しのぶ (Ⅱ)
- 東洋思想文化演習Ⅰ④A B (新詩を読む) 近藤光雄 (Ⅱ)
- 東洋思想文化演習Ⅱ④A B (朱熹『孟子集注』告子上篇精読) 告子上篇精読
- 東洋芸術文化特講ⅠA《春》(東アジアの植物文化と芸術) 小路口聡 (Ⅱ)
- 東洋芸術文化特講ⅡA《春》(仏伝図の絵解き) 岩井昌悟 (Ⅱ)
- 東洋芸術文化特講ⅡB《秋》(バリ島の芸能から人間の創造性を学ぶ) 山本早良紗 (Ⅰ)
- 東洋芸術文化特講ⅣB《秋》(東南アジアにおけるインド文化の受容と変容―美術を中心として) 山口しのぶ (Ⅰ)
- 東洋思想文化への誘いA B 沼田一郎
- 東洋の身体論《春》(ここからからだをどう見るか)〈オムニバ形式〉 伊吹 敦
- 日本漢学A B (日本では漢学を如何に学んで来たのか) 伊吹 敦
- 日本仏教史A (日本仏教史(飛鳥時代〜鎌倉時代)) 坂本頼之
- 日本仏教史B (日本仏教史(鎌倉時代〜現代)) 水谷香奈 (Ⅰ)
- 日本仏教史A (日本における仏教のあゆみと社会・文化―仏教伝来から鎌倉仏教(前半)まで―) 橘川智昭 (Ⅱ)
- 日本仏教史B (日本における仏教のあゆみと社会・文化―鎌倉

仏教(後半)から明治時代以後の仏教まで(一) 橘川智昭(Ⅱ)
パリー語A B (聖典に直に触れる)

比較宗教A 岩井昌悟

比較宗教B 松野智章

ヒンディー語A (ヒンディー語入門I) 橋本泰元

ヒンディー語B (Introduction to Hindi 2) 橋本泰元

ヒンドゥー教概論A B (ヒンドゥー教の思想を学ぶ) 橋本泰元

仏教漢文A (仏教漢文の基礎) 伊吹 敦

仏教漢文B (経典注釈・浄土教文献を読む) 伊吹 敦

仏教思想概論A (一仏教とは何か) 渡辺章悟

仏教思想概論B (仏教の思想とその展開) 渡辺章悟

仏教思想特講I A 《春》(一)空の世界に何があるのか(一) 渡辺章悟(Ⅰ)

仏教思想特講I B 《春》(一)華嚴経の物語とその思想 橘川智昭(Ⅱ)

仏教思想特講II A 《春》(一)禅思想の形成と社会との交渉 伊吹 敦

仏教思想特講II B 《秋》(一)密教の思想 金本拓士

仏教思想特講III A 《秋》(一)すべては解脱のために 岩井昌悟(Ⅰ)

仏教思想特講III B 《秋》(一)浄土思想(特に阿弥陀信仰)の形成・展開とその影響 水谷香奈(Ⅰ)

仏教と社会福祉《秋》(一)いのちに向き合う仏教者の活動に学ぶ 水谷香奈(Ⅰ)

仏教の芸能《秋》(一)仏教伝統歌謡の基本を学び実修してみよう 高瀬顕功
(オムニバス形式)

ヨーガ《春》(一)実践をとおして思想を学ぶ 橋本泰元(Ⅱ)

レポート・論文制作の技法⑤《春》 番場裕之(Ⅱ)

レポート・論文制作の技法⑥《春》 川田 健(Ⅰ)

レポート・論文制作の技法⑦《春》 橋本泰元(Ⅰ)

レポート・論文制作の技法⑧《春》 野間信幸(Ⅰ)

レポート・論文制作の技法⑨《春》 小路口聡(Ⅰ)

レポート・論文制作の技法⑩《春》 渡辺章悟(Ⅰ)

レポート・論文制作の技法⑪《春》 伊吹 敦(Ⅰ)

レポート・論文制作の技法⑫《春》 岩井昌悟(Ⅱ)

レポート・論文制作の技法⑬《春》 沼田一郎(Ⅱ)

〈大学院〉

インド哲学仏教学専攻

博士前期課程

インド哲学研究I A B・インド哲学研究指導II A B 沼田一郎

インド哲学研究II A B・インド哲学研究指導III A B 橋本泰元

インド哲学研究III A B 高橋孝信

インド哲学研究IV A B 高島 淳

インド哲学仏教学特殊演習A B 伊藤 真

インド仏教研究I A B・仏教学研究指導III A B 岩井昌悟

インド仏教研究II A B 松村淳子

インド仏教研究Ⅲ A B ・ 仏教学研究指導Ⅰ A B 渡辺章悟

インド仏教研究Ⅳ A B ・ 仏教学研究指導Ⅱ A B 山口しのぶ

インド仏教研究Ⅴ A B 田中公明

東アジア仏教研究Ⅰ A B ・ 仏教学研究指導Ⅳ A B 伊吹 敦

東アジア仏教研究Ⅲ A B 林田康順

博士後期課程

インド哲学研究指導Ⅱ A B ・ インド哲学特殊研究Ⅱ A B 橋本泰元

インド哲学研究指導Ⅲ A B ・ インド哲学特殊研究Ⅲ A B

沼田一郎

仏教学研究指導Ⅰ A B ・ 仏教学特殊研究Ⅰ A B 渡辺章悟

仏教学研究指導Ⅱ A B ・ 仏教学特殊研究Ⅱ A B 山口しのぶ

仏教学研究指導Ⅲ A B ・ 仏教学特殊研究Ⅳ A B 岩井昌悟

仏教学研究指導Ⅳ A B ・ 仏教学特殊研究Ⅲ A B 伊吹 敦

中国哲学専攻

博士前期課程

中国哲学演習Ⅰ A B ・ 中国哲学研究指導Ⅴ A B 白井 順

中国哲学研究指導Ⅲ A B 小路口聡

中国哲学研究Ⅰ A B 中村 聡

中国哲学特論Ⅲ A B 小路口聡

中国文学特論Ⅰ A B ・ 中国哲学研究指導Ⅱ A B 野間信幸

中国文学特論Ⅲ A B 有澤晶子

中国文学特論 A B 合山林太郎

中国語学研究Ⅰ A B 野間信幸

中国語学研究Ⅱ A B 橋本恭子

博士後期課程

中国哲学特殊研究Ⅰ A B ・ 中国哲学研究指導Ⅰ A B 野間信幸

中国哲学研究指導Ⅲ A B 小路口聡

中国哲学特殊研究Ⅴ A B ・ 中国哲学研究指導Ⅴ A B 白井 順

二〇二〇年度東洋思想文化学科卒業論文題目

〔I部〕

- | | | | |
|--------|--|--------|---|
| 浦川 真由 | 日韓の食文化 | 横山 さやか | イスラームにおけるヴェール着用の意義・目的とその変遷 |
| 五島 優華 | 中国と日本の茶文化 | 高柳 良介 | 柳田国男の先祖観―『先祖の話』を中心に― |
| 作佐部 優香 | 日本文化としてのパチンコ | 若松 桃圭 | 仏教における飲酒の解釈―不飲酒戒とその受容について― |
| 清水 喜一 | 米国におけるイスラーム教について | 伊東 利紗 | 信仰対象としての大黒天と物語の中の大黒天 |
| 高橋 有希 | 室町時代における禅宗の影響 | 木村 夏野 | 臓器移植を通して見る死生観―身体観に基づく移植への抵抗感について― |
| 田久保ゆみ香 | 中華料理と茶文化 | 中澤 公作 | インド・パキスタン分離独立を題材とした映画の表象における史実との相違点について |
| 三浦 翔 | 競馬が日本の文化になるまで―名馬の誕生と競馬の発展― | 久光 竜太 | 苦難に対しての向き合い方―十二縁起の自分なりの考察― |
| 森原 康暉 | 中国撰述仏典『梵網経』の特色―構成と下巻、菩薩戒の思想的特徴を中心として― | 市澤 杏奈 | 過去仏について |
| 秋山 楓 | 着物文化からみる日本文化 | 鴛巢 由希子 | 動物前生物語から読み取る豊かな動物イメージ―ジャッカルとライオンの描写を比較して― |
| 川崎 萌夏 | 一世人が即身仏になった理由―宗教・社会の観点から見る湯殿山系の即身仏の誕生― | 海老澤 真由 | 韓国ドラマ『トッケビ』にみる朝鮮の鬼神―中国鬼神との比較 |
| 熊田 裕香 | 台湾人のアイデンティティの形成 | 岡本 夏弥 | 比較して考える日本武道と中国武術 |
| 中園 綾 | お歯黒に見る日本文化―お歯黒は化粧と言えるのか― | 小倉 明日香 | 李白の詩に用いられている月から見える心情 |
| 安田 美波都 | 近代以降の日本において神として祀られる人 | 田中 陽菜 | 『三国志』と関索について―『三国志演義』と『花関索伝』の繋がりと関索が与えた影響― |
| 大垣 誠弥 | 日本の婚礼について | 千田 泰暉 | 漢字教育の歴史と教育実践から見る今後の可能性 |
| 山本 真由 | 仏教教育―庶民教育からみる― | 奈 衡 | 中国の妖怪学 |

石井 輝 日本文学に影響を与えた唐代の文学と後世での日

中相互影響

浅野 佳蓮 楊貴妃は本当に「傾国の美女」だったのだろうか？

～中国の女性の美について～

浜崎 里彩 王羲之と日本の書に与えた影響

中釜 裕人 酒と漢詩

入江 七華 諸子百家からみるユートピア思想と近代社会

柴 薦軒 春秋戦国時代における礼樂の変遷について

張 萌芳 「良知」に基づく「知行合一」の意味

成瀬 広大 「性善説」と「性悪説」の現代的意義——「優先席」

を通して考える——

頼 晨曦 『莊子』の「遊」と「命」の思想について

現代に生きる論語

増田 義明 『武漢日記・封鎖下60日の魂の記録』について

息 栄城 (主題) 漢代における格差と経済政策(副題) 地

篠田 東吾 域間の庶民の経済格差の有無とそれに関する経済

政策の有無について

白谷 将吾 安東省菴からの教え

野崎 亮 ハヌマーンの人気の理由

佐藤 遼馬 剣道の歴史と柔道の比較

齋藤 梨子 彼らはなぜ戦うのか？～クリシユナとアルジュナ

の対話から～

堤 春花 死生観は必要か——「再死(Punarmityu)」の必要性

杉本 愛 インドの食文化とアールヴエーダ

田中 耀介 インド高等教育における留保制度の影響

山本 咲織 インドの宗教問題から覗く社会のあるべき姿

中村 太陽 魯迅の思想と精神～「呐喊」を中心に～

福原 優花 張愛玲『金鎖記』『傾城之恋』における「愛」の

かたち

石持 勝志 『木蘭詩』について——古代中国の家族と現代中国

の家族——

魚路 彩莉 現代中国における格差社会とその対策

黒沼 里奈 白居易の恋愛詩からみる人生観

鈴木 統星 西洋音楽と比較した際の、中国雅楽の音楽的および

文化的独自性

中島 徳洋 李商隠の不遇感に関わる詩作について

早瀬 瞳 書道における日本と中国の比較

中島 敬人 『張文環と呂赫若の行動を比較する』——彼らに共

通する「不屈さ」と「したたかさ」——

一人っ子政策における中国の人口問題

大戸 真帆 三国志演義と日本の関わり方

平田 詩織 中島敦の作品に見える孤独感——「山月記」「李陵」

を中心として——

志賀 安珠 民衆における楊貴妃像と生存説に関する考察

瀧田 瑞希 台湾映画から見る日本統治の在り方

古郡 勇汰 陶淵明の飲酒詩から見るその「生」

加藤 大智	科挙における不正について―不正から見た科挙制度と人間性の考察―	大井 菜月	『バガヴァッド・ギーター』に学ぶ現代を生きる方法
富江 俊	『マハーバーラタ』に見るヒンドゥー教の死生観	小松 優仁	習近平時代における兩岸関係
池田 紘生	インド映画にみるカースト差別問題	宇佐美 千尋	コロナ禍に学ぶ、社会と芸術文化の新しい関係性
田中 麻衣	ヨーガの文化的研究	小林 涼音	バリ絵画の伝統文化的価値と商品的価値―バリ島を中心として―
濱組 優希	インド映画における女性社会問題との関係性	田中 碧	インドのヒンドゥー寺院と日本の仏教寺院の歴史と機能
安田 靖菜	『マハーバーラタ』におけるカルナの民間伝承	中村 実由	ミャンマーの服飾からわかる文化や生活の独自性
倉 審吉	『ラーマヤナ』における猿神ハヌマーンについて	渡邊 彩香	研究―主に利用するロンジーを中心として―
関口 美咲	女性差別とこれからのインド	雨宮 千紘	岡倉天心『東洋の理想』に見られる文学的意味
平野 悠人	インドの伝統衣装と現代のインドへの影響	法林 アラト	イスラーム文化における文様美術の変遷
村尾 綾花	カースト制度とIT産業について	山崎 結衣	日本の仏像の歴史
進来 早紀	インドの詩人・タゴールの思想および日本との相互関係	田中 梨乃	インド ラバリー族の民族衣装について―文様・刺繍を中心に―
原島 純	ディズニー映画『アラジン (1992)』とディズニー実写映画『アラジン (2019)』におけるオリエンタリズムの変容	柴崎 朋花	インド社会における女性の地位について―性差別的な文化と諸問題―
南方 耀司	インドの伝統衣装、テキスタイル	佐々木 優奈	日本のアート界のいまとこれから―現代アートを中心として―
三好 慶	ムガル皇帝アクバル大帝の見たカースト制	宮崎 筆子	自然遺産 小笠原諸島における生物多様性―小笠原の生態系と外来生物の関係性及びその変遷―
木原 真之介	アーユルヴェエダと実生活		ベトナム料理の成立と日本におけるベトナム料理の特色
海田 ひかり	アーユルヴェエダに関連するインド哲学と身体の研究		
小野寺 啓太	現代インドの音楽		
飯川 絢水	ガンデイーの生涯とインドの歴史		

西尾 咲希 江島神社木造裸形弁才天坐像の文化財的価値への考察

市川 由唯 日本における神仏習合史についてとその特色

佐藤 小夏 インド映画からみる女性差別問題―ジェンダー格差に対するインド社会の動きを中心として―

板谷 優花 インド絵画の変遷に関する研究

永江 静葉 東洋における「染織」の文化比較

齋藤 咲良 インドネシア、スラウェシ島におけるトラジャ族の祖先信仰と文化

西澤 あかり 藤原清衡がどのような意図をもって中尊寺金色堂を建設したか

木曾 倫太郎 なぜ人は信仰するのか「なぜ宗教は人類と共に歩み続けることが出来たのか」

谷本 英駿 天台宗と修験道を中心とした天狗像の変遷

橋本 美優 日蓮『立正安国論』著作の過程と法然『選択集』批判について

野元 大希 死者の魂が往く霊界で起こっている出来事と平田篤胤の想起する霊界

（Ⅱ部）

鈴木 純斗 茶道に置ける禅精神の必要性

加藤 太樹 寺院と現代社会―現代における寺院の役割と在り方―

崎山 ラウル マインドフルネスをいかに評価するか

村山 大悟 仰韶文化の埋葬制度と彩文土器の意味

榎本 一樹 華夷思想形成の概観・理解からみた現代中国

佐藤 雅也 魯迅『狂人日記』における儒教と「食人」

栗原 結薫 現代に活かす『伝習録』

安西 優輝 親孝行の本質―「孝経」を中心に親に対する子の在り方について分析する―

伊藤 和美 東西陶磁史の概略と元青花

丸山 峻拓 ヤージニャヴァルキヤとウツダーラカアールニの

岡崎 来望 アートマン論の統合を目指して

岩澤 明音 インドの食文化研究

奥西 極 ジャイナ教における植物の生命倫理観と人間優位性の考察

渡邊 剛志 『大般涅槃経』の研究

小森 啓矢 インド死生観に見る宗教が信仰される理由について

渡部 智瑛 インド音楽の影響を受けたカルチャーの変貌

土居原 潔 マハトマ・ガンディーのギターに対する解釈とアヒンサー

花嶋 伶哉 親鸞が生涯を通して教えてくれたもの

種池 広平 人間の一生と生死

「バガヴァッド・ギーター」の筆者が読者に伝えるたかったこと

坂口 駿平
インド舞踊と表現

中村 日風生
0の発明とその普及

鎌田 迅
東洋の煙草文化―アジア諸地域における歴史の変遷

田邊 涼太
東洋における男色の歴史

中野 瑠美
アジア各地の壁画から東洋美術のオリジナリティを探る

伊藤 航大
オウム真理教のテロ組織化における東洋諸国の宗教からの影響

角 俊太郎
森鷗外と人魚姫

小河原 麻衣
社会の中に生きる仏教者の活動

城之内 優佳
仏教者による緩和ケアの実践について

菊岡 愛恵
日本人の親切概念への考察

杉山 聖弥
女人禁制から文化や伝統を考える

大学院インド哲学仏教学専攻修士論文

古川 峻
ダルマストータにおける滅罪法についての考察
(チャインドラーヤナ滅罪を手がかりに)

福島マシユ
The Clear Illumination of Intent: A Study and

Partial Translation of Tsongkhapa's Heruka

Body Mandala Sādhana in the Tradition of

Ghaṇṭāpa